

Roblox × AntiGravity AI

連携セットアップマニュアル

完全にクリーンな状態から、AIに指示を出してRobloxゲームを自動構築させる手順です。

1 作業用フォルダの準備とMCP接続

パソコン上に空のフォルダを作成します。

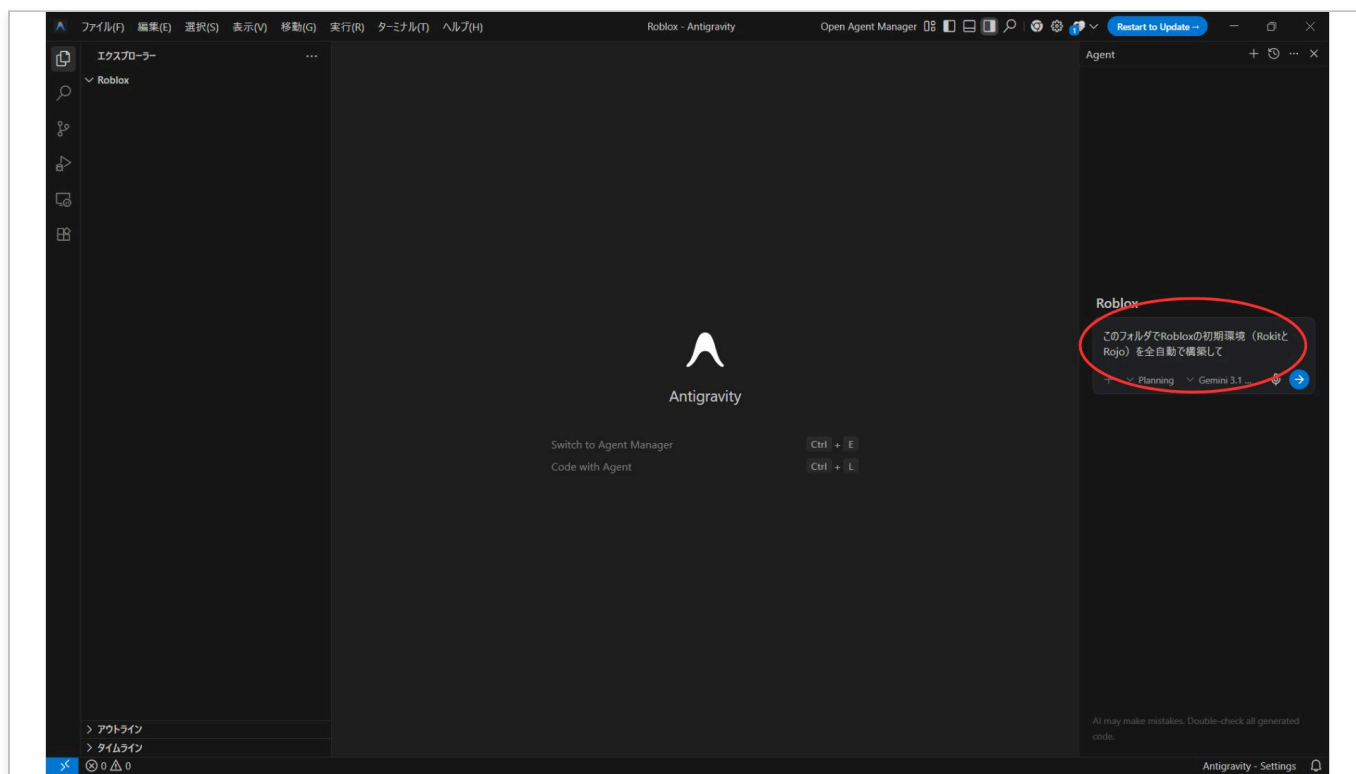
そして、作成したフォルダを**AntiGravity AIのエディタ（Claude Code等）**で開きます。

これにより、AIモデルとローカルフォルダがMCPを通じてリンクし、AIが自由にファイルを自動生成できる状態になります。

2 AIへ「初期環境構築」を丸投げする

ターミナルでのコマンド入力は不要です。AIのチャット画面で以下のように指示します。

「このフォルダでRobloxの初期環境（RokitとRojo）を全自動で構築して」



上記のように、AIが自動で `rokit.toml` や `default.project.json` を生成し、必要な依存関係をインストールしてくれます。

3 AIに「ゲームの機能とアイテム」を作らせる

環境構築が終わったら、そのままAIに作成したい機能を伝えます。

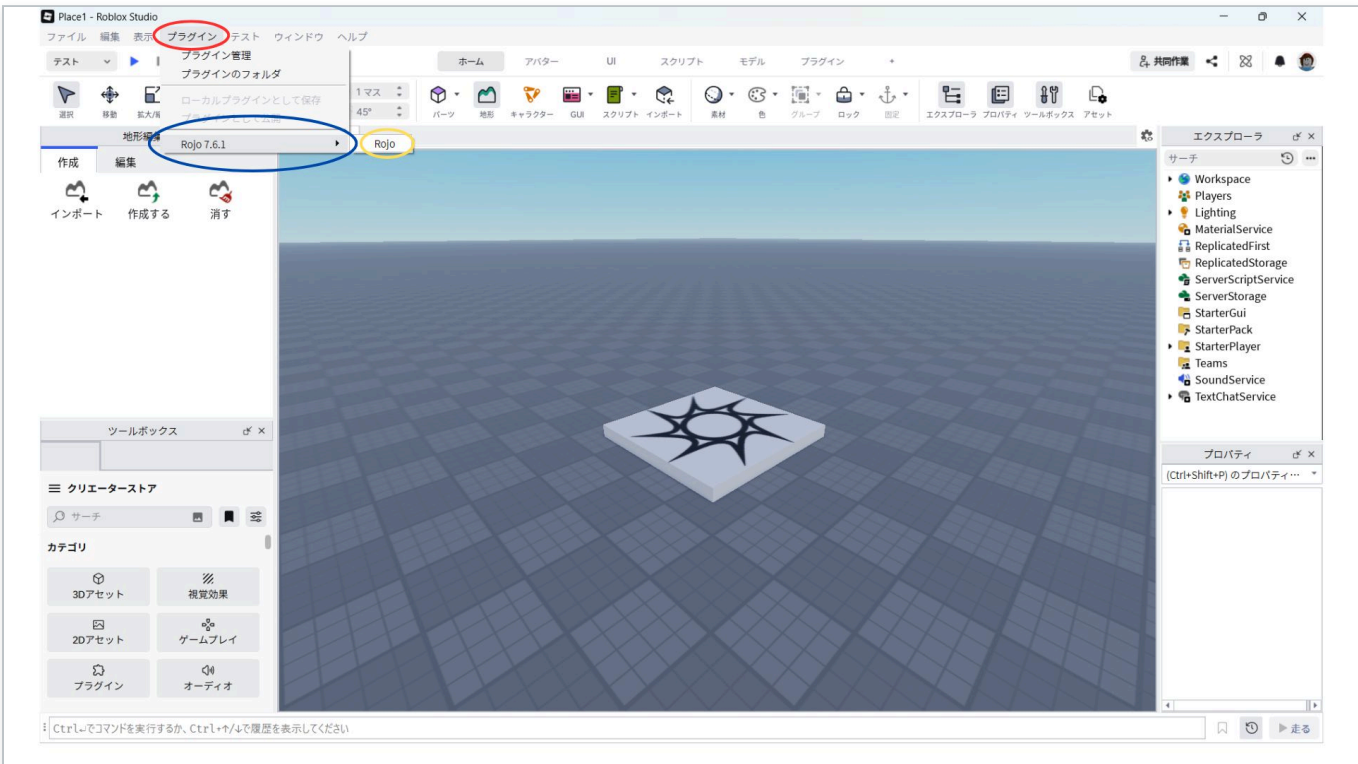
例：「触れるとスピードが2倍になる赤いブロックを作って」

AIが最適なスクリプトを自動生成し、Rojoプロジェクトの適切な階層に構成します。

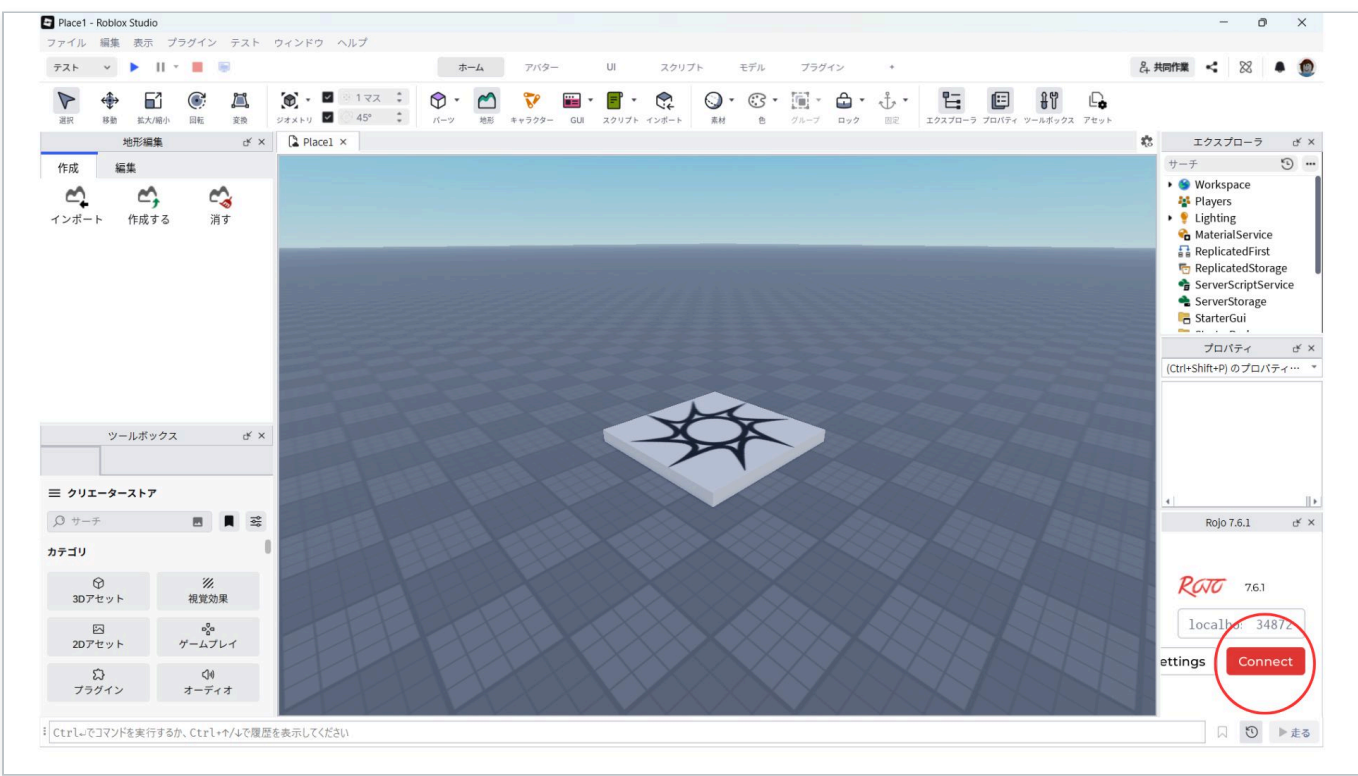
4 Roblox Studioとの同期 (Rojoプラグイン接続)

AIがコードを作り終えたら、AIに「**rojo serve を起動して**」とお願いするか、ターミナルで起動します。
その後、以下の手順でRoblox Studio内からRojoプラグインへ接続します。

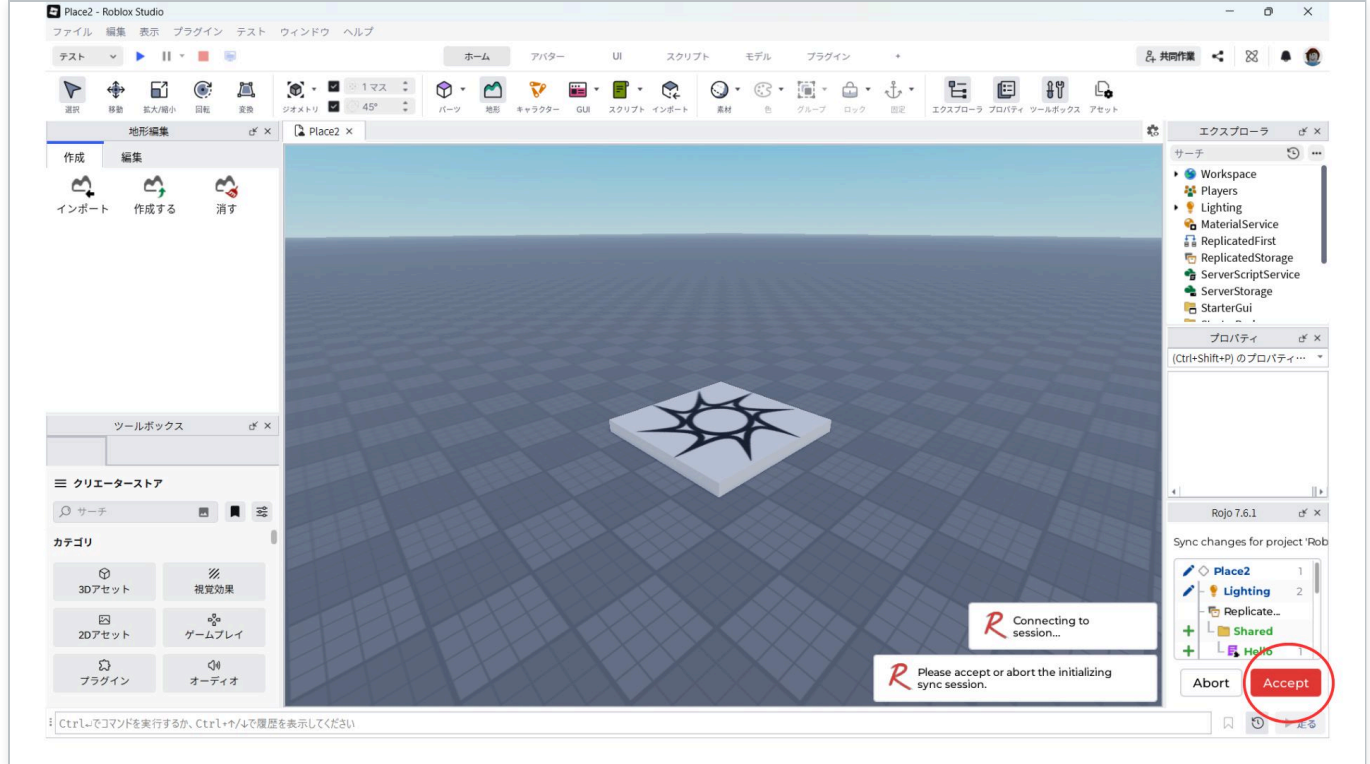
① Roblox Studioでプロジェクトを開き、上部の「拡張機能 (Plugins)」タブから「Rojo」アイコンを選択します。



② 表示されたRojo専用ウィンドウ内の「Connect」ボタンをクリックします。



③ 接続が成功すると、AIが生成したスクリプトやパーツが瞬時にStudio内へ同期・反映されます。



5 完了・テストプレイ！

同期が完了すると、AIの描いた世界が現れます。

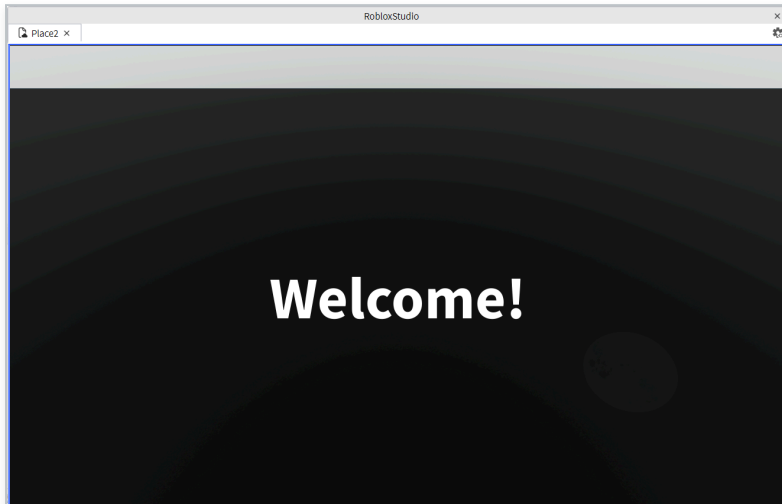
Studio内で「プレイ」ボタン（F5）を押し、AntiGravityAIが生成した機能が実際に動くかテストしましょう！

【応用編】AIへのプロンプト（指示）具体例

以下のような具体的な指示をAIに送ることで、複雑なゲームシステムも自動で構築可能です。

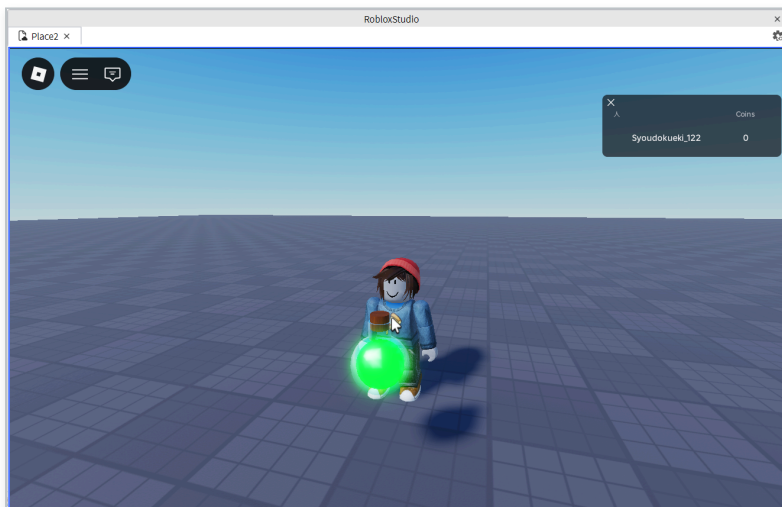
- 機能の追加：

「サーバーに入った時、画面全体に『Welcome!』と表示されるGUI機能を作って」



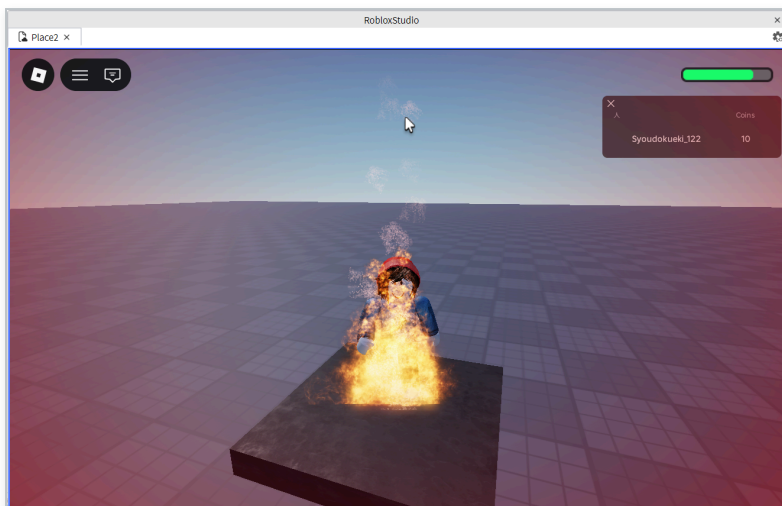
- アイテムの追加：

「プレイヤーが拾うと体力が全回復する緑色のポーションのアイテムとスクリプトを作って」



- オブジェクトの追加：

「炎のパーティクルが出続けて、触れると毎秒ダメージを受けるトラップのオブジェクトを作って」



- 課金システム（Monetization）等の追加：

「ショップ機能を作って、一旦無料でGame Pass（ID：1234567）を販売して、それを持っているプレイヤーだけが開けられるVIP専用のドアを作って」

